

(佐々木注)1997年3月14日作成

原題「76期新年会「9年」原文はB5版2ページ。

以下、原文をそのままにA4版に変換、ページ付与。

## 第76期関東甲信越地区支部新年会及び総会祝辞

9-1-31

第76期の皆さん。新年おめでとうございます。年の始めに懐かしい皆さんにお逢いして新年の挨拶を交わす機会を頂き誠に有り難く存じます。これは決して外交辞令ではなく、ただ出てくるだけならば喜んで出席するのですが、ホンネを言いますと、また引っ張り出されて祝辞を述べさせられるのか、そいつは困ったナァーということにして、全国総会と新年会と年に2回皆さんの前に出て来るのが続きますと、さすがお達しを得意とした私も種がつき果て途方に暮れて正月の酒も喉を通りかねたというのはウソですが、些か気が重いというのが正直なところです。しかし事務局長の命をうけて服務している会長としては、76期の局長から、水交会でダントツの会員がいるのはどのクラスか忘れてはいないでしょうね、とおどかさされると否も応もなくまかりでた次第でありまして、代わり映えのしない拙い話で恐縮ですがご勘弁ください。

皆さんも今年中には殆どの方が満でかぞえても古希の仲間入りをする事になりましょう。岐阜の全国大会で10年後の皆さんの姿は此の通りとお元気なお話をされた鈴木靖隆指導官は、私の四号のとき同じ分隊の一号生徒で、手をとってカッターの漕ぎ方まで教えて頂いたなど、一生頭の上がない方ですが、あのお話を聞いているとき次の言葉を思い出しました。それは、「落葉樹は紅葉が最高、日は入り日、人生は七〇から」という言葉です。これからの皆さんの本当の人生です。「日残りテ昏ルルニ未ダ遠キ」毎日を毎年をいかに充実して生きるか、アンドレ、ジードがいった「美しく死ぬのはさほど難しいことではない。しかし美しく老いることは至難の業である」というその美しく老いるにはどうすればよいか、それが私たち一同に与えられた公案です。

ところで、私がまだ在職中のことですが、遠航から帰った実習員が、回ってきた各国の中で一番反日的なのは日本であったと語ったことが、未だに忘れられません。最近同じようなことを長く日本にいる親日的なベルギー人の神父が語っているのを知りました。「地球上でもっとも反日的な国民を知っていますか。それは日本人です。」というのです。

此の批評を裏づける動きが減退するどころか、一部のマスコミや教育の世界ではむしろ強まる動きを見せているのは誠に残念なことです。

しかし、その一方で76期の有志の人々を初めとする心ある人々の活動は目覚ましく、また先の阪神大震災や今回の重油汚染で示された積極的なボランティア活動など若い人々の意欲の兆しも見えることは心強い限りであります。要は如何にして若い人々を正しい方向に導くかにありましょう。これからの日本を背負う若い人々に正しい歴史観を与え、此の世の中には平和や個人の命や人権も大切であるが、時にはそれらを犠牲にしても守らなければならない価値のあることを、しっかりと伝え残すことこそ我々の残りの人生を注ぎ込む甲斐のある仕事と言うべく、それはまた美しく老いることにも通じようかと思うことです。

第76期会の一層の発展と会員の皆さんのますますの健康を祈って祝辞といたします。

---

---

(佐々木注) 1997年10月26日作成

原題「76期全国大会(1997)」B5版1ページ。

以下、原文をそのままA4版に変換し、欄外にページを付与したもの。

## 76期全国大会(1997)

第76期の皆さん、盛大な横浜大会おめでとうございます。今年も皆さんの元気な顔を拝見し誠に嬉しく思います

皆さんはこの50年余、殉国の志を祖国の再建に立てなおし、幾多の苦難を克服して、今日の経済的繁栄と豊かな生活を築く原動力となってこられました。さて50年経って世の中を見てみると、こんな日本にするために自分たちは死にももの狂いで働いてきたのかとの空しい思いを持たれる人も少なくないと思います。このままでは亡国の道を進んでいるのではないかとさえ思わせられ、経済的繁栄の代償のように失ったものの貴重さが今更のように思われます。失ったものの中でも大きいものは、民族として国民としての誇りであり、また恥を知ると言うことではないでしょうか。そしてまた民主主義の基本とも言うべき、他人に迷惑をかけず、自ら責任をとると言うことは、少しも育たなかったような気がします。このような現状を立直すためまず基本となるべきものは、今日の平和と繁栄を築くために一身を擲って護国の神となられた英霊に対する感謝の気持とその慰霊顕彰であろうと思います。

いうまでもなく水交会は、その慰霊顕彰と海軍の伝統の継承、さらに今回加わりました海上自衛隊に対する協力を主要な目的とする財団法人です。76期の皆さんの絶大な支援によりまして、会勢を維持し目的達成のため活動できますことは誠に有難く、今後ともよろしくお願いいたします。ここに76期クラス会の一層の発展と会員皆さんのご健康を祈って祝辞と致します。